

# 平成26年度 第1回鶴岡市廃棄物減量等推進審議会

日 時：平成26年8月21日（木）

午後2時から4時まで

鶴岡市ごみ焼却施設

「クリーンセンター研修室」

## 次 第

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 主催者挨拶

4. 委員紹介並びに  
事務局紹介

5. 会長・副会長選任

6. 会長・副会長挨拶

7. 報 告

(1) 平成25年度鶴岡市一般廃棄物の実績について

(2) 平成26年度鶴岡市廃棄物行政の事業執行について

8. そ の 他

9. 閉 会

# 鶴岡市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

任期H28.8.20まで

区分	氏名	所属団体等	備考
学識経験者	小谷 肇	鶴岡工業高等専門学校名誉教授	
関係行政機関の職員	相澤 菜司	庄内総合支庁保健福祉環境部環境課長	
住民組織等の代表者	佐藤 弥一	鶴岡市衛生組織連合会副会長	
	板垣 久喜	藤島地区衛生組織連合会会長	
	齋藤 二彦	羽黒地区衛生組織連合会会長	
	齋藤 信	鶴岡市衛生組織連合会副会長	
	五十嵐 俊司	温海地区衛生組織連合会会長	
	渡部 力雄	朝日地域自治会連絡協議会副会長	
	小南 恵子	鶴岡地域婦人会連合会理事	
関係商工業団体の代表者	菊地 陸	鶴岡商工会議所青年部元会長	
	小野木 寛	出羽商工会会長	
	竹野 尊	鶴岡商店会連合会会長	
事業者	柴崎 ルミ	マックスバリュ東北株式会社鶴岡南店総務チーフ	
	御橋 慶治	一般社団法人鶴岡地区医師会事務局長	
	谷川 芒	株式会社主婦の店鶴岡店総務部	
	土田 光恵	生活協同組合共立社組織部	

## 事務局出席者

事務局	役職名
川畑 仁	鶴岡市市民部長
中村 賢	鶴岡市市民部参事(兼)廃棄物対策課長
丸山 隆逸	鶴岡市藤島庁舎市民福祉課長
国井 儀昭	鶴岡市羽黒庁舎市民福祉課長
山口 弘男	鶴岡市榎引庁舎市民福祉課長
渡邊 健	鶴岡市朝日庁舎市民福祉課長(代理 市民環境主査 齋藤倫明)
石塚 みさ	鶴岡市温海庁舎市民福祉課長(代理 主任 五十嵐賢一)
門脇 豊	鶴岡市市民部廃棄物対策課施設管理主査
滝澤 巖	鶴岡市市民部廃棄物対策課施設管理係長
成田 譲	鶴岡市市民部廃棄物対策課リサイクル推進主査
丸山 正樹	鶴岡市市民部廃棄物対策課リサイクル推進係長
長谷川 富久	鶴岡市市民部廃棄物対策課リサイクル推進係主任
佐藤 吉克	鶴岡市市民部廃棄物対策課リサイクル推進係リサイクル推進主任

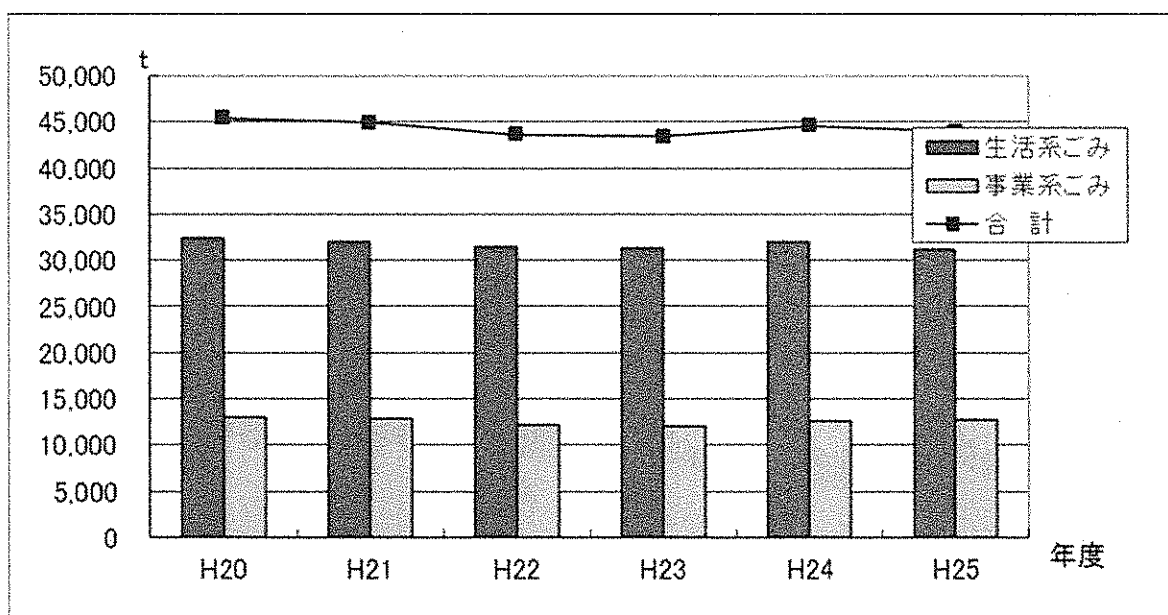
#### 4. 報告一 (1)

##### I. 平成25年度鶴岡市一般廃棄物の実績について

平成25年度のごみの収集量は、総量で 43,979 t となっており、対前年度比で 619 t (1.39%) の減となっている。

生活系では、31,236 t で前年度比 841 t (2.62%) 減少しているが、事業系では 12,743 t で対前年度比 222t (1.77%) 増加となっている。事業系一般廃棄物の増加が、全体量の減少率を圧縮する結果となっている。(表1・図1)

(図1) 生活系・事業系廃棄物量比較

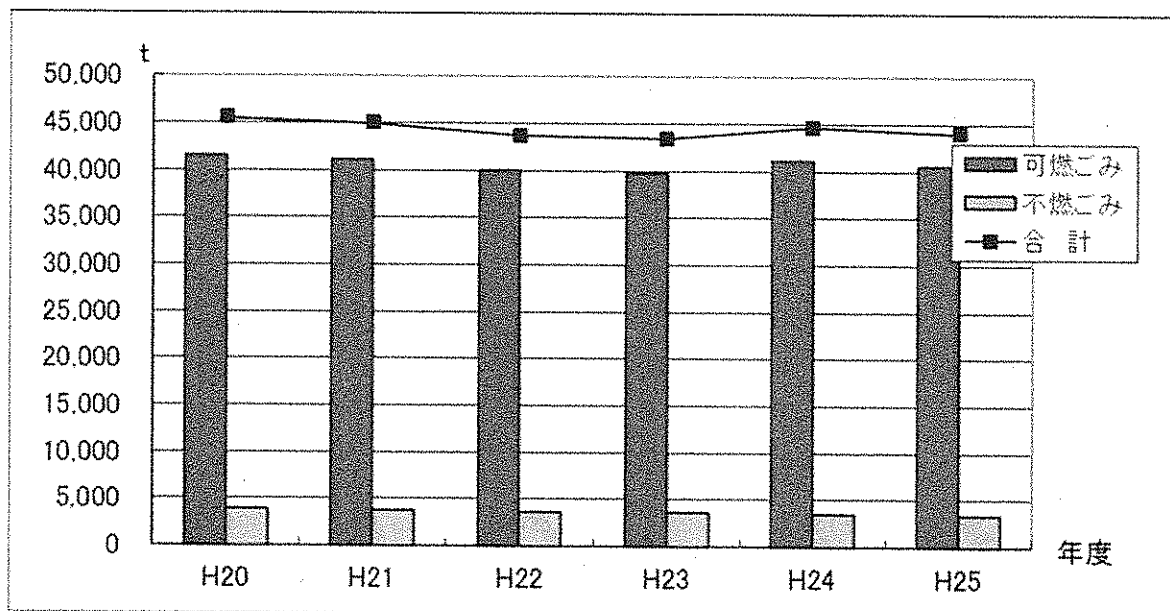


(表1) 生活系・事業系廃棄物量比較

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
生活系ごみ (t)	32,450	32,091	31,487	31,366	32,077	31,236	
事業系ごみ(可燃のみ)(t)	13,019	12,843	12,168	12,043	12,521	12,743	
合計	45,470	44,934	43,655	43,409	44,598	43,979	
前年度比(生活系ごみ)(%)	-	-1.32	-1.11	-1.88	-0.39	2.27	-2.62
前年度比(事業系ごみ)(%)	-	-7.60	-1.35	-5.26	-1.03	3.97	1.77
前年度比(合計)(%)	-	-3.20	-1.18	-2.85	-0.56	2.74	-1.39

また、可燃ごみ・不燃ごみでみると、可燃ごみが 40,564 t で前年度比 558 t (1.36%) 減少し、不燃ごみは 3,415 t で前年度比 61 t (1.76%) の減少となっている。(表 2・図 2)

(図 2) 可燃ごみ・不燃ごみ収集量比較 (事業系可燃ごみ含む)

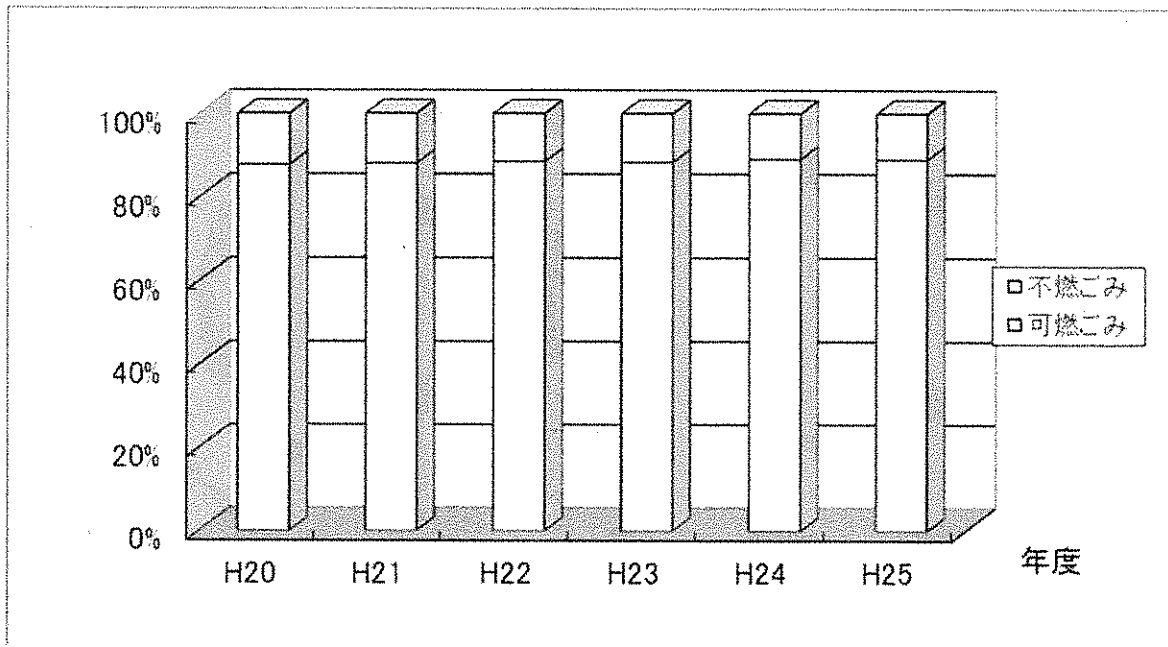


(表 2) 可燃ごみ・不燃ごみ収集量比較 (事業系可燃ごみ含む)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25
可燃ごみ (t)	41,514	41,158	40,066	39,767	41,122	40,564
不燃ごみ (t)	3,956	3,776	3,589	3,642	3,476	3,415
合計 (t)	45,470	44,934	43,656	43,409	44,598	43,979
前年度比較(可燃ごみ)(%)	-2.70	-0.86	-2.65	-0.75	3.41	-1.36
前年度比較(不燃ごみ)(%)	-8.13	-4.53	-4.95	1.46	-4.56	-1.76
前年度比較(合計)(%)	-3.20	-1.18	-2.85	-0.56	2.74	-1.39

生活系ごみの内訳をみると可燃ごみが、約 27,821 t で生活系ごみの 89.1%、不燃ごみが約 3,415 t で 10.9%の割合となっており、可燃ごみ・不燃ごみともに前年並みの結果となった。(表 3・図 3)

(図 3) 生活系ごみの可燃ごみ・不燃ごみ割合



(表 3) 生活系ごみの可燃ごみ・不燃ごみ割合

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25
可燃ごみ割合 (%)	87.8	88.2	88.6	88.4	89.2	89.1
不燃ごみ割合 (%)	12.2	11.8	11.4	11.6	10.8	10.9

《増減の主な理由》

- ① ペットボトル、アルミ缶等の素材の軽量化が進み不燃ごみ重量が減少した。
- ② プラスチック製容器包装類が、汚れた状態で可燃ごみとして排出されるケースが見受けられる。
- ③ スチール・アルミ缶等を直接資源回収業者等に売り渡すケースがみられる。
- ④ レジ袋無料配布取り止めや雑がみの資源回収量増加など、3R推進に関する啓発による排出抑制効果があった。
- ⑤ 景気動向に左右されるといわれている事業系一般廃棄物量は、前年比 1.8%程度の増加がみられる。特に事業系廃棄物の自己搬入量は、前年比 5%増と高い伸びを示している。

## II. ごみ減量・リサイクル推進事業の主な取組みについて

### ① ごみ分別説明会等の実施

各町内会等に出向き実施した「ごみ分別説明会」は、以下のとおりとなっており、前年度より参加者が約170名増加している。また、環境フェアつるおかをはじめ市内で開催されたイベントでの分別啓発展示は5会場で実施された。

年度	実施回数	参加者数	備考(展示会場)
24	36回	1,001名	5会場
25	41回	1,172名	9会場

### ② 早朝立哨指導の実施

早朝に町内会等のステーションに出向き、各町内会役員等の協力を得ながら実施した「ごみステーション早朝立哨指導」については、以下のとおりであった。前年度より実施回数やステーション数は減ったものの、協力者数は箇所当たりでは増加しており、町内会と協同した取組みとして実施された。

年度	実施回数	ステーション数	町内会協力者
24	12件	30か所	56名
25	7件	22か所	42名

### ③ 資源回収運動の取組み(資料2参照)

登録団体数は前年度と同様の結果であったが、総回収量は4%程度減っておりともなって報奨金実績も減額となっている。その中で、「雑がみ」の集団回収量は前年実績から1割程度増加している。また、団体当たりの実施回数も増加しており、市民の3R意識は拡大しているものと思われる。

### ④ 生ごみ処理機器購入補助(資料3参照)

補助基数は減少傾向にある。特に電気式の購入者が減少していることから、補助金額としては前年比75%程度の実績となっている。

### ⑤ 小型家電リサイクル回収事業

環境フェアつるおかでイベント回収を実施し、以下の実績となった。

- ◆期日：平成25年9月29日(日) 来場者：約4,500名
- ◆回収品目：PC・携帯電話・デジカメ・ビデオ・ゲーム機 5品目限定
- ◆回収量：261台・456kg (PC62台・携帯電話83台等)

## ⑥リサイクルプラザの主な取組み

平成 25 年 7 月 31 日、8 月 8 日、8 月 16 日「夏休み親子リサイクル体験教室」開催

平成 25 年 9 月 8 日（日）「リサイクルプラザ休日見学会」開催

「ふろしき活用講座」の開催（4 回）



### Ⅲ. 一般廃棄物処理施設の状況について

#### (1) ごみ焼却施設

ごみ焼却施設への搬入量は、平成18年度の45,910t以降全般的に減少傾向にあり、平成24年度は前年度比増加したものの、平成25年度は43,450tで、前年度比で約625t(1.4%)減に転じた。

搬入内容をみると、鶴岡市の生活系ごみは、27,822t、前年度比779t(2.7%)の減で、事業系ごみは12,743t、前年度比222t(1.8%)の増となっている。三川町の生活系ごみは、1,474t、前年度比27t(1.8%)の減、事業系ごみは、1,411t、前年度比41t(2.8%)の減となっている。

施設の管理については、夜間の運転管理業務の民間への委託を継続し、適切な運転管理業務が行われた。また、各種機械設備の定期保守点検や整備補修、排出ガス分析業務などを実施し、施設の適正な維持管理に努めた。

ごみ焼却施設は20年以上経過し老朽化しており、平成24年度に施設の整備方法を検討するため廃棄物処理施設長寿命化計画を策定し、延命化よりも新たなごみ焼却施設整備に向けた施策を講ずることが望ましいとの提案を受けた。平成25年度は国の交付金を受けるため循環型社会形成推進地域計画及び新ごみ焼却施設の整備に向けた施策を講じるために熱エネルギー回収のごみ焼却施設整備基本構想などを策定した。

#### (2) し尿処理施設

生し尿及び浄化槽汚泥の処理量は、公共下水道の普及や農業・漁業集落排水事業などの進捗により減少しており、平成25年度は27,721kℓ、前年度比で390kℓ(1.4%)減少した。

内訳を見ると、鶴岡市は26,051kℓ、前年度比で404kℓ(1.5%)の減となっている。三川町は1,670kℓ、前年度比14kℓ(0.8%)の増となっている。

施設の運転管理業務は民間に委託しており、各種機械設備については、定期保守点検や整備補修、処理水の分析業務などを実施し、衛生的かつ効率的な処理を行った。

#### (3) 中間処理施設(リサイクルプラザ)

平成17年4月からの新施設の稼動に伴いごみの分別と処理の方法が変わり、不燃ごみの搬入量は全般的に減少傾向にあり、平成23年度は前年度比増加したものの、平成25年度は3,640tで、前年度比53t(1.4%)の減少に転じた。



内訳を見ると、鶴岡市の不燃ごみは3,497 t、前年度比50 t (1.4%)の減で、三川町の不燃ごみは143 t、前年度比3 t (2.1%)の減となっている。

施設の管理については、効率的な運営を推進するため、工場棟を中心とした不燃ごみの中間処理業務を、株式会社鶴岡地区クリーン公社に委託しており、見学者等にはリサイクル物品や違反ごみを展示し、分別方法やリサイクルについての指導やごみの分別と排出方法の啓発に努めた。

#### (4) 最終処分場

平成25年度末の埋立量は9,016 m<sup>3</sup>、前年度比648 m<sup>3</sup> (7.7%)の増となっている。また、全体計画埋立容量225,000 m<sup>3</sup>に対し、平成25年度は169,397 m<sup>3</sup>となっており、全体の75.3%の埋立量となっている。

また、平成17年のリサイクルプラザの稼動に伴い、廃プラスチック、ゴム類の処理を、埋め立てから焼却処理に変更したことにより、施設の延命化が図られた。

一般廃棄物の実績及び計画

資料1

	(単位:t)													
	実績 平成 16年度	実績 平成 17年度	実績 平成 18年度	実績 平成 19年度	実績 平成 20年度	実績 平成 21年度	実績 平成 22年度	実績 平成 23年度	実績 平成 24年度	実績 平成 25年度	実施計画 平成 25年度	実施計画 平成 26年度	基本計画 平成 26年度	基本計画 平成 27年度
生活系ごみ量	31,601	32,185	33,268	32,883	32,450	32,091	31,487	31,366	32,077	31,236	30,627	31,361	27,604	26,506
うち可燃物	25,411	27,186	28,561	28,578	28,495	28,315	27,898	27,724	28,601	27,821	26,787	27,686	24,430	23,458
うち不燃物	6,190	4,999	4,707	4,305	3,955	3,776	3,589	3,642	3,476	3,415	3,840	3,675	3,174	3,048
うち施設資源化量	1,810	3,678	3,272	2,956	2,740	2,477	2,296	2,339	2,190	2,242	2,342	2,442	2,508	2,510
事業系ごみ量	15,957	14,563	14,697	14,090	13,019	12,843	12,168	12,043	12,521	12,743	12,035	12,285	11,743	11,559
ごみ排出量計	47,558	46,748	47,965	46,973	45,469	44,934	43,655	43,409	44,598	43,979	42,662	43,646	39,347	38,065
資源回収量	6,009	5,878	5,691	5,394	5,049	4,708	4,509	4,499	4,578	4,452	4,452	4,583	5,577	5,788
リサイクル率(%)	14.6	18.2	16.7	15.9	15.4	14.5	14.1	14.3	13.8	13.8	14.4	14.6	18.0	18.9
生活系ごみ 1人1日当り排出量(e)	600	615	640	638	637	635	628	629	649	639	622	646	559	540
ごみ排出量 1人1日当り排出量(e)	903	894	923	911	892	889	870	871	902	900	866	899	797	775
人口(人)	144,274	143,288	142,338	140,896	139,619	138,499	137,453	136,146	135,403	133,831	134,960	133,038	135,290	134,481

※ 不燃物は粗大ごみを除く  
※ 施設資源化量は三川町を含む

## 資源回収実績

		24年度	25年度	
集団回収	登録団体数	403団体	403団体	
	実施回数(平均)	2,513回(6.2回)	2,526回(6.3回)	
	回収量	新聞	2,347,392 kg	2,259,657 kg
		雑誌	1,040,553 kg	1,018,646 kg
		ダンボール	903,895 kg	896,245 kg
		飲料用パック	12,851 kg	12,356 kg
		雑がみ	7,335 kg	8,210 kg
		古紙類計	4,312,026 kg	4,195,114 kg
		金属類	25,804kg	24,978 kg
		びん類(本数)	119,029本	112,214本
		びん類(kg)	88,247 kg	83,456 kg
		重量計	4,426,077 kg	4,303,548 kg
	報奨金	実施団体	19,610,570 円	19,102,304 円
		回収業者	8,794,684 円	8,552,396 円
拠点回収	回収量	新聞	53,190 kg	52,060 kg
		雑誌	49,422 kg	47,430 kg
		ダンボール	43,420 kg	44,400 kg
		飲料用パック	50 kg	21 kg
		雑がみ	5,630 kg	4,649 kg
		古紙類計	151,712kg	148,560kg
		金属類	0kg	0kg
		びん類(本数)	0本	0本
		びん類(kg)	0kg	0kg
		重量計	151,712kg	148,560kg
重量合計		4,577,789kg	4,452,108kg	

## 生ごみ処理機器購入補助制度

○補助制度 昭和59年6月14日施行（旧鶴岡市）

平成 3年 旧羽黒町  
 平成 9年 旧温海町  
 平成14年 旧藤島町 ・ 旧櫛引町  
 平成17年 旧朝日村

○補助内容 購入金額（消費税を除く）の3分の1（100円未満切捨て、上限2万円）

○補助実績

	基数 (台)	電気式		コンポスト容器		補助金合計額 (円)
		基数	金額(円)	基数	金額(円)	
平成23年度	25	13	225,000	12	19,900	244,900
平成24年度	20	10	178,200	10	19,600	197,800
平成25年度	18	7	130,200	11	16,800	147,000

※平成26年3月末日現在

○補助累計（基数）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	世帯数	普及率(%)
鶴岡地区	4,009	4,027	4,043	4,054	36,031	11.3%
藤島地区	1,019	1,022	1,022	1,023	3,173	32.2%
羽黒地区	1,090	1,091	1,091	1,093	2,561	42.7%
櫛引地区	1,234	1,237	1,239	1,240	2,155	57.5%
朝日地区	1,113	1,113	1,114	1,116	1,362	81.9%
温海地区	502	502	503	504	2,902	17.4%
合計	8,967	8,992	9,012	9,030	48,184	18.7%

※平成26年3月末日現在

## クリーン作戦実績

	年 度	実施件数	参加延べ人数	可燃 (kg)	不燃 (kg)
鶴岡地域	23年度	127 件	7,735 人	47,982	2,634
	24年度	120 件	7,706 人	38,967	1,852
	25年度	123 件	6,996 人	27,992	3,201
藤島地域	23年度	21 件	977 人	605	289
	24年度	29 件	1,687 人	670	437
	25年度	15 件	1,718 人	509	293
羽黒地域	23年度	120 件	4,209 人	1,210	870
	24年度	115 件	4,020 人	870	720
	25年度	113 件	3,835 人	800	600
櫛引地域	23年度	24 件	1,208 人	536	425
	24年度	23 件	1,215 人	329	240
	25年度	28 件	1,203 人	269	191
朝日地域	23年度	1 件	1,113 人	482	262
	24年度	2 件	1,414 人	620	410
	25年度	2 件	1,277 人	550	255
温海地域	23年度	57 件	4,720 人	22,830	2,661
	24年度	55 件	3,223 人	24,900	1,750
	25年度	65 件	5,220 人	20,841	1,884
合 計	23年度	350 件	19,962 人	73,645	7,141
	24年度	344 件	19,265 人	66,356	5,409
	25年度	373 件	20,249 人	50,961	6,424

## 不法投棄について

	年 度	件 数	可燃 (kg)	不燃 (kg)
鶴岡地域	23年度	33 件	632	1,292
	24年度	26 件	40	454
	25年度	37 件	56	661
藤島地域	23年度	2 件	0	0
	24年度	1 件	0	2
	25年度	3 件	0	9
羽黒地域	23年度	18 件	5	475
	24年度	3 件	0	0
	25年度	6 件	0	65
榎引地域	23年度	4 件	20	120
	24年度	5 件	0	6
	25年度	6 件	0	15
朝日地域	23年度	4 件	20	145
	24年度	3 件	0	0
	25年度	2 件	0	3
温海地域	23年度	22 件	5	55
	24年度	20 件	2	291
	25年度	8 件	135	13
合 計	23年度	83 件	682	2,087
	24年度	58 件	42	753
	25年度	62 件	191	766

## 4. 報 告— (2)

### 平成26年度鶴岡市廃棄物行政の事業執行について

#### 【方 針】

それぞれの地域の生活環境をより安全で安心なものにするために、一人ひとりの心がつながりあう確かな地域を構築することを施策の柱とし、環境にやさしい資源循環型社会形成を目標として、「鶴岡市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみ分別の徹底と資源化、適正且つ効率的なごみ処理を推進する。

#### 【執行事業の概要】

##### 1. 清掃一般事業

- (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づく本市の「平成27年度一般廃棄物処理実施計画」を策定、鶴岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第2条の規定に基づく告示を実施する。
- (2) 一般廃棄物収集運搬・処分業及び浄化槽清掃業の許可に関する事務手続きを実施する。
- (3) 円滑な廃棄物行政遂行のため、全国都市清掃会議等の関係各機関との連携に努める。

##### 2. ごみ減量・リサイクル推進事業

「鶴岡市行財政改革大綱に基づく実施計画」に「ごみ減量・リサイクル推進事業（ごみ減量化推進とごみ有料化制度導入の検討）」が位置付けられている。ごみ減量・リサイクル推進に向けて、市民、事業者、行政の責任の明確化を図り、具体的な実行項目を設定し、排出抑制・再使用・再資源化の3R（リデュース・リユース・リサイクル）事業を推進する。

- (1) 町内会・自治会・地域組織等を単位として廃棄物減量等推進員（391名）を委嘱し、ごみの出し方の指導、ごみステーションの管理等、一般廃棄物の減量のための施策を、市民と行政が協働して推進する。
- (2) 地域における集団資源回収運動を支援するとともに、少子高齢化などが原因で取組みが難しい地域については拠点回収事業を推進する。
- (3) リサイクルプラザを活用した体験教室や休日見学会等を継続実施するとともに、ごみステーションにおける早朝立哨指導やごみ分別出前講座等、積極的に市民に関わっていく活動を展開し、市民への環境意識（適正分別等）啓発に努める。

### 3、塵芥収集事業

- (1) 一般家庭から排出される生活系ごみの収集運搬を市内 17 区域・18 事業に分類して委託し、各町内会・自治組織等が管理する約 2,450 箇所のごみステーションから収集する。
- (2) 生し尿・浄化槽汚泥については、市内全域を 3 地区に分割し収集運搬を行っている民間 3 業者による約 2,400 世帯の生し尿の速やかな収集運搬等を促進し、快適な生活環境を保持する。

### 4、環境美化推進及び散在性廃棄物対策事業

不法投棄や散在性廃棄物のない環境づくりやクリーン作戦等を通じた地域美化意識の醸成に努める。

- (1) 地域の環境美化の促進及び市民の環境保全意識高揚のため、5月30日の「鶴岡市ごみゼロ大作戦」や市民一斉清掃を始め、道路や公園等公共施設などの空き缶等クリーン作戦を推進する。
- (2) 庄内地区不法投棄防止対策協議会及び鶴岡市不法投棄監視通報ネットワーク連絡会議の構成関係機関と連携を図り、あわせて、廃棄物減量等推進員の地域巡回等による情報収集を実施し、不法投棄の防止や原状回復に努める。
- (3) 26年度は、海洋ごみ問題解決に向けて関係省庁担当者をはじめとする関係者が一堂に会して情報共有・意見交換等を行う「第12回海ごみサミット」の本会議が7月24日、マリカ市民ホールを会場に開催されている。これを機に、山形県海岸漂着物対策推進協議会や「美しいやまがたの海プラットフォーム」運営委員会等との連携を強化して「裸足で歩ける庄内海岸」を目指して海岸清潔度のランク向上に努める。
- (4) 本市所管の公衆便所180箇所のうちの91箇所について、地元自治会等に委託して、その清潔保持及び建物等の保全に努める。

### 5、燃やすごみ焼却処理、燃やさないごみ資源化处理、一般廃棄物最終処分及びし尿処理事業

各種消耗品類の購入、設備の修繕や保守点検業務委託及び運転管理委託を行い、4施設の適正な運転・維持管理を行うとともに、将来の処理量に見合った処理施設を整備し、適正な処理及び処分の機能を確保する。

- (1) 平成23年度に開始した夜間運転管理の民間委託を26年度からは計量の窓口業務、夜警業務等を含めた全面委託として燃やすごみを焼却処理する。
  - ・新たな燃やすごみ処理施設の整備に向け、25年度は「循環型社会形成推進地域計画」及び「施設整備基本構想」を策定しており、26年度は「施設整備基本計画策定業務」及び「生活環境影響調査業務」を実施する。
- (2) 平成17年度にオープンした鶴岡市リサイクルプラザの運営業務を(株)鶴岡地区クリーン公社に委託して燃やさないごみの資源化处理を推進する。
- (3) 平成9年度に稼働開始した岡山一般廃棄物最終処分場において、燃やすごみの焼却に伴って発生する灰及び不燃物の中間処理に伴って発生する残渣類を埋立処分する。
- (4) 平成22年度に開始した施設の運転管理の民間委託を継続して生し尿等を処理する。



## 鶴岡市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

(敬称略)

区 分	氏 名	所属団体等	備 考
学識経験者	小 谷 章	鶴岡工業高等専門学校名誉教授	
関係行政機関の職員	相 澤 菜 司	庄内総合支庁保健福祉環境部環境課長	
住民組織等の代表者	佐 藤 弥 一	鶴岡市衛生組織連合会副会長	
	坂 垣 久 喜	藤島地区衛生組織連合会会長	
	齋 藤 一 彦	羽黒地区衛生組織連合会会長	
	齋 藤 信	鶴岡市衛生組織連合会副会長	
	五十嵐 俊 司	温海地区衛生組織連合会会長	
	渡 部 力 雄	朝日地域自治会連絡協議会副会長	欠席
	小 南 恵 子	鶴岡地域婦人会連合会理事	欠席
関係商工業団体の代表者	菊 地 陸	鶴岡商工会議所青年部元会長	欠席
	小野木 覺	出羽商工会会長	欠席
	竹 野 尊	鶴岡商店会連合会会長	
事 業 者	柴 崎 ル ミ	マックスバリュ東北株式会社鶴岡南店総務チーフ	欠席
	御 橋 慶 治	一般社団法人鶴岡地区医師会事務局長	
	谷 川 仁	株式会社主婦の店鶴岡店総務部	
	土 田 光 恵	生活協同組合共立社組織部	欠席

## 事務局出席者

事務局	役 職 名
中 村 賢	鶴岡市市民部参事(兼)廃棄物対策課長
丸 山 隆 逸	鶴岡市藤島庁舎市民福祉課長
国 井 儀 昭	鶴岡市羽黒庁舎市民福祉課長
山 口 弘 男	鶴岡市櫛引庁舎市民福祉課長
渡 邊 健	鶴岡市朝日庁舎市民福祉課長(代理 市民環境主査 齋藤倫明)
石 塚 み さ	鶴岡市温海庁舎市民福祉課長(代理 主任 五十嵐賢一)
門 脇 豊	鶴岡市市民部廃棄物対策課施設管理主査
滝 澤 巖	鶴岡市市民部廃棄物対策課施設管理係長
成 田 譲	鶴岡市市民部廃棄物対策課リサイクル推進主査
丸 山 正 樹	鶴岡市市民部廃棄物対策課リサイクル推進係長
長谷川 富 久	鶴岡市市民部廃棄物対策課リサイクル推進係主任
佐 藤 吉 克	鶴岡市市民部廃棄物対策課リサイクル推進係リサイクル推進主任